

全建発第29～237号
平成29年11月17日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和

印省略

第640回建設技術講習会の開催について (工事積算(土木・建築)の動向とi-Constructionの取り組み)

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等の自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction(建設現場の生産性向上)など、時代の要請に応えた施策の展開を図っていくことが重要となっており、国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第640回建設技術講習会では、積算の最新事情と今後の動向及びi-Constructionの今後の推進、土木及び建築工事積算基準や土木工事標準歩掛の適用上の留意点、ICT施工における新たな積算基準の制定、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点、工事事故と安全対策、ヒューマンエラーの原因とその対策などについて学ぶことを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和

印省略

第640回建設技術講習会開催について (工事積算(土木・建築)の動向とi-Constructionの取り組み)

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成30年1月24日(水)～26日(金)、高松市において標記講習会を開催いたします。

この講習会は、積算の最新事情と今後の動向及びi-Constructionの今後の推進、土木及び建築工事積算基準や土木工事標準歩掛の適用上の留意点、ICT施工における新たな積算基準の制定、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点、工事事務と安全対策、ヒューマンエラーの原因とその対策などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は香川県・高松市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
香川県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
香川県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※30歳未満の正会員及び地元割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,500円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数の「640」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成29年12月22日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成30年1月11日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成30年1月18日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：9単位/2.75単位、CPDS：(未定)/(未定) ※現場研修は予定

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第640回建設技術講習会日程

(工事積算(土木・建築)における動向とi-Constructionの取り組み) ～土木工事、建築工事における積算の動向や安全管理に関する具体の取り組み及び

生産性の向上に向けたi-Constructionの取り組みについて学ぶ～

- ・積算の最新事情と今後の動向及びi-Constructionの今後の推進について
- ・土木及び建築工事積算基準や土木工事標準歩掛の適用上の留意点などについて
- ・ICT施工における新たな積算基準の制定について
- ・会計検査にみる設計、積算、施工における留意点について
- ・工事事故と安全対策、ヒューマンエラーの原因とその対策について

会場 …… サンポートホール高松(5階 第2小ホール)
〒760-0019 高松市サンポート2-1 TEL087-825-5000(代)

(1日目) 開場11:40		平成30年1月24日(水)		(敬称略)
12:40 13:00	あいさつ	香川県知事 高松市長 (一社)全日本建設技術協会 参事	浜田 恵 造 大西 秀 人 中神 陽 一	
13:00 14:00	【特別講演】 (旧)建設省設立70周年に際して	(一社)全日本建設技術協会 技術顧問	松田 芳 夫	
14:10 15:10	建設工事における事故と安全対策について	国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐	堤 英 彰	
15:20 16:20	公共工事と会計検査 ～設計、積算、施工における留意点～	(一財)経済調査会 技術顧問・参与 (元会計検査院農林水産検査第4課長)	芳賀 昭 彦	
16:30 17:30	ICT活用工事について	国土交通省大臣官房技術調査課 工事監視官	矢作 智 之	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞(18:15～19:45(予定))		BAYCAFEアゼリア サンポート店 TEL087-813-3003 (サンポート高松 マリタイムプラザ3階)		
(2日目) 開場 9:00		1月25日(木)		(敬称略)
9:40 10:40	建設マネジメントの最新事情や今後の動向について ～ICT施工における新たな積算基準の制定について～	国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官	竹下 正 一	
10:50 11:50	公共建築工事の円滑な施工確保対策について ～「営繕積算方式」の普及・促進～	国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 営繕積算企画調整室 室長	くい びら 終 平 健	
13:00 13:20	【地域事業の紹介①】 椋川ダム建設事業について	香川県土木部河川砂防課 課長補佐	藤平 依 彦	
13:20 13:40	【地域事業の紹介②】 史跡高松城跡桜御門復元整備事業について	高松市創造都市推進局文化財課 主査	高上 拓	
13:40 14:00	【地元自治体の取り組み】 香川県庁舎東館耐震改修工事について	香川県総務部営繕課 副主幹	香川 政 治	
14:10 15:10	ヒューマンエラーの原因と対策	常磐大学人間科学部心理学科 教授	申 紅 仙	
15:20 16:20	土木工事標準歩掛の最近の動向と 適用上の留意点について	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 施工安全企画室 課長補佐	姫野 芳 範	
16:20	閉会のあいさつ	香川県建設技術協会長 (香川県土木部長)	葛西 剛	
(3日目) 集合 8:00～		1月26日(金) 【現場研修】		

サンポート高松シンボルタワー北側駐車場〔港湾第3駐車場〕(8:30) 出発

- 国道11号 大内白鳥バイパス改築工事(下車説明) → 香東川総合開発事業 椋川ダム建設工事(下車説明)
- 昼食(高松市内) → 高松城桜御門復元整備事業(下車説明)
- JR高松駅(15:30) / 高松空港(16:10) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第640回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 史跡高松城跡桜御門復元整備事業

- 高松城は天正16（1588）年に生駒親正により築城が開始された城郭。
その後松平頼重・頼常により大規模な改修が行われ、明治を迎えるまで高松松平家の居城。
- 桜御門は三の丸に整備された御殿『披雲閣』の正門にあたる。
近代まで遺存しており、旧国宝（現在の重要文化財）に指定されることが内定していたが、昭和20年の高松空襲で焼失。
- 遺構としては礎石と両側の石垣が残るが、焼損が著しく、石垣の解体修理を行った。
- 門の復元については 古写真・古図・遺構・聞き取り調査・類例調査を基に復元設計を完了しており、平成31年度にしゅん工予定である。

..... 高松市玉藻町



2. 一般国道11号 大内白鳥バイパス改築工事（ICT施工） 東かがわ市伊座～小砂

- 一般国道11号は、徳島市を起点とし高松市を経て松山市に至る四国の3県都を瀬戸内沿いに連絡する延長約231kmの主要幹線道路で、経済の交流と地域発展の大動脈であるとともに、通勤・通学等日常生活に欠かせない生活道路としての役割ももつ重要な路線。
- 大内白鳥バイパスは、東かがわ市内の一般国道11号で発生している慢性的な交通渋滞や、それに伴う事故多発区間の解消、さらに交通流の円滑化によるアクセス性の向上などにより、地域の文化・経済・産業の発展に資することを目的とした延長約9.2kmのバイパス道路。
- 大内白鳥バイパスへの交通転換により、並行する現道の旅行速度の向上や渋滞緩和。現道の交通量の減少による交通事故発生件数の減少。医療施設への所要時間短縮により救命率の向上。新たな緊急輸送路の確保による災害時の確実な移動。
- 初の部分開通後、交通事故は約3割減少し、交通量は従前と比べて増加したが、現道のJR三本松駅前交差点の渋滞長は約半分に減少し、旅行速度が若干向上するなど効果が現れている。
- 平成28年12月9日には香川県内初となるICT施工を導入。



3. 香東川総合開発事業 柵川ダム建設工事 高松市塩江町安原上東

- 香東川は阿讃山脈を源とし、瀬戸内海に注ぐ延長約33km、流域面積 約113km²の香川県を代表する2級河川。
- 柵川ダムは香東川総合開発事業の一環として、2級河川香東川水系柵川の高松市塩江町安原上東に、多目的ダムとして建設。
- 治水、流水の正常な機能の維持はもちろん、高松市に対して水道用水として新たに1日最大9,000m³の取水が可能。
- 平成6年に代表されるような異常渇水時でも河川維持流量の補給を可能とし、緊急水補給として渇水被害を軽減。
- 平成26年10月にダム本体工事の契約を締結し、平成28年12月から本体コンクリート打設中。



第640回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には高松市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成30年1月23日(火)、24日(水)、25日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
オークラホテル高松	高松市城東町1-9-5 Tel.087-821-2222	シングル	40名	6,800円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第640回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成30年1月24日(水) 18:15～19:45(予定)
(第640回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：BAYCAFEアゼリア サンポート店(予定)
(サンポート高松 マリタイムプラザ3階)
※講習会会場と同じ建物です。

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。

※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|----------------------------------|----------|
| ・(一財)全日本建設技術協会 技術顧問 | 松田 芳夫 |
| ・(一財)経済調査会 技術顧問・参与 | 芳賀 昭彦 講師 |
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐 | 堤 英彰 講師 |
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 工事監視官 | 矢作 智之 講師 |
| ・国土交通省総合政策局公共事業企画調整課施工安全企画室 課長補佐 | 姫野 芳範 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第640回建設技術講習会（工事積算（土木・建築）における動向とi-Constructionの取り組み）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会 員	正会員 30 歳未 満			予約日に○を 記入して下さい		
							1月 23日	24日	25日	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)						現場研修 の 昼食は 不要の申し 出はできま せん※	宿泊代金は、 ホテルチェックイン 時に全額お支払 いください。 禁煙・喫煙の希望 がある場合には、 “○禁”、“○喫”の ように記入してくだ さい。			
現場研修料 名×7,500円＝ 円										
計						円				

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、30歳未満の正会員及び地元割引価格で参加の場合、キャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。